

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 令和 2 年度

施設所管課： 鎮西市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市桃山天下市	所在地	唐津市鎮西町名護屋 1 8 5 9 番地
設置目的	地域における農業・水産業の振興及び歴史・文化を素材とした観光の開発・普及の中核となる施設として、市内地場製品の消費拡大及び地域経済の活性化に寄与するため。		
休館日	1 月 1 日、1 月 2 日及び毎月第 3 月曜日	開館時間	午前 8 時 3 0 分～午後 8 時 3 0 分

2 施設の利用状況

説 明	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	利用状況の傾向と増減の要因
レジ通過人数	197,889 人	192,991 人	185,667 人	152,675 人	コロナ禍により、市内の観光客が減少したため。

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社桃山天下市			
	所在地	佐賀県唐津市鎮西町名護屋 1 8 5 9 番地			
	代表者	代表取締役社長 坂口 栄一			
指定期間		平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務内容		(1) 施設等の利用の許可に関する業務 (2) 桃山天下市施設の及び設備の維持管理に関する業務			
事業の実施状況		毎月の定休日は返上し、利用者の利便性の向上に寄与した。 施設等の利用許可に関しては、施設内のテナントに対して、前年度に引き続き許可を行った。 施設等の維持管理に関しては、業務の委託及び修繕の実施などを行っている。 自主事業等については、物産館の運営とともに、定期的イベント実施や道の駅としての管理運営を行った。			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等		常勤の内訳	
	6 人	3 人		支配人、販売主任、事務職員	

4 収支状況

単位：円

	令和2年度 決算額	令和元年度 決算額	増減額
収 入 (a)+(b)+(c)+(d)	67,930,105	80,107,444	-12,177,339
指定管理料 (a)			
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ	5,419,705	6,295,052	-875,347
事業収入 (c)	51,947,147	67,256,364	-15,309,217
自主事業収入	51,947,147	67,256,364	-15,309,217
—			
—			
その他			
その他収入 (d)	10,563,253	6,556,028	4,007,225
支 出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	69,559,564	82,333,952	-12,774,388
人件費 (e)	19,704,861	19,566,813	138,048
施設管理費 (f)	9,656,215	12,106,576	-2,450,361
光熱水費	5,235,077	7,025,621	-1,790,544
修繕費	50,900	54,600	-3,700
広告宣伝費	258,263	387,083	-128,820
委託料（再委託）	2,698,067	3,147,097	-449,030
保険料	135,730	110,636	25,094
事務費	215,678	218,307	-2,629
その他	1,062,500	1,163,232	-100,732
事業費 (g)	37,335,383	47,812,093	-10,476,710
うち自主事業に伴う 経費	37,335,383	47,812,093	-10,476,710
施設使用料 (h)			
その他支出 (i)	2,863,105	2,848,470	14,635
収支	-1,629,459	-2,226,508	597,049
利益配分額	0	0	0

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
評価の視点			
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	適	適
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	B	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	B	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	B	B
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	B	B
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	B	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	B	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	B	B
④施設の 利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	B	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	B	B
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	B	B
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	B	B
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	B	B
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	A	A
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	B	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	B	B

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	B	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント
	2 サービスの質	B	
	3 継続性・安定性	B	
総合評価		B	新型コロナウイルスの影響もあり、売上・利用客は大幅に減少となった。売上等の大幅減については、コロナ禍において指定管理者としては、なんともしようがないものと思料する。 その売上・利用客減が明らかな中、様々な情報を集め国・県・市の補助金等を活用し、最小限の赤字に留めることができたことは評価できる。 今後も感染対策を徹底し、観光客への安全・安心・快適なサービスの提供及び地域資源（近隣観光施設）を生かし、連携を図る中心として観光客の増加を志向しながら、互いに売り上げを伸ばす施設となることを期待する。